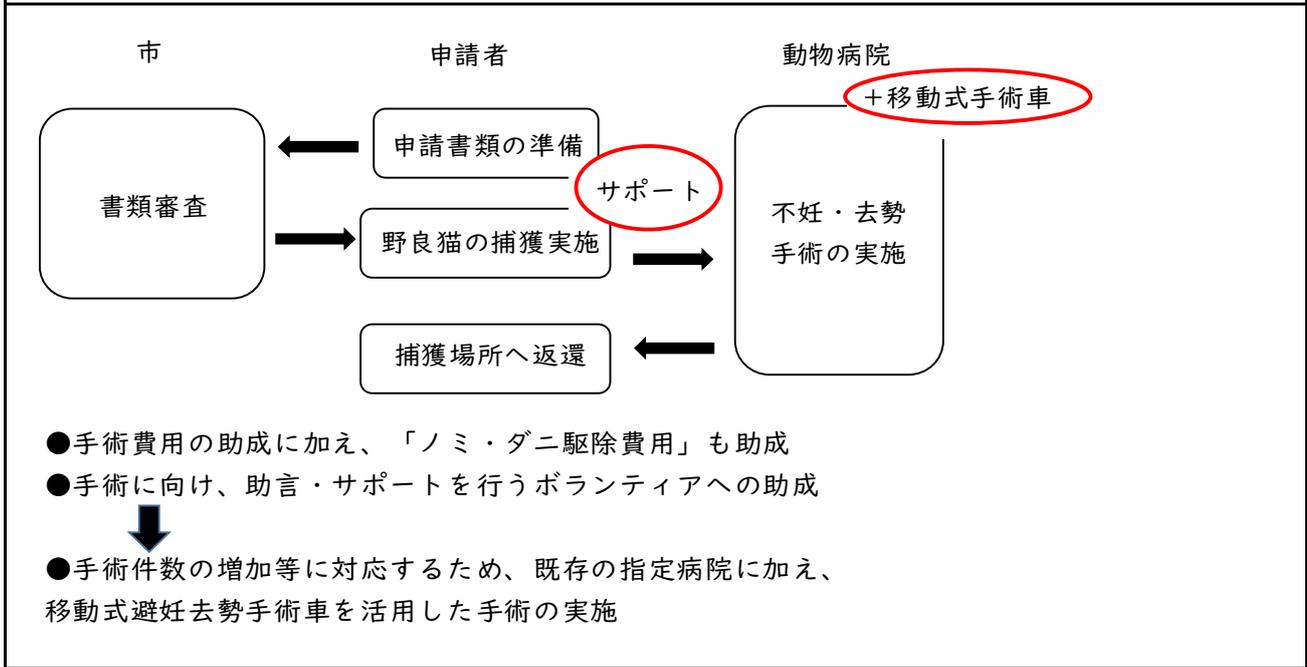


事業概要シート

施策	2002	環境汚染対策の推進	<>の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く
事業名	動物愛護推進事業	拡充	予算額 9,909 千円 << 9,238 >>千円
事業期間	~		財源内訳 国庫支出金 千円 県支出金 千円 地方債 千円 その他 3,462 千円 一般財源 6,447 千円
根拠法令要綱等	大村市犬取締条例 狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する法律 大村市野良猫不妊・去勢手術費用助成金交付要綱		

【事業の目的・概要・対象】

- 目的
 狂犬病予防及び犬や猫の適正飼育を推進するとともに人と動物の共生社会を目指す。
 また、野良猫の不妊・去勢手術費用の助成を行うことにより、野良猫によるフン尿等被害軽減及び殺処分頭数の減少を目指す。
- 概要
 犬の登録、狂犬病予防注射の促進及び鑑札、注射済票の発行と犬と猫の適正な飼養の啓発。
 また、みだりな繁殖を予防するため、市民が市内の指定動物病院で不妊・去勢手術を受けさせる場合に申請により手術費用を助成する。
 ○犬の登録受付・鑑札交付、狂犬病予防注射の集合会場での実施、狂犬病予防注射済票交付
 ○犬・猫の飼い方・しつけ方等の指導及び講座の実施、野良猫の不妊・去勢手術費用の助成
- 対象
 市内に住所を有する個人又は団体



【背景】

飼い犬の登録促進や予防注射の接種率アップを図るとともに、適正飼育の徹底が不可欠である。
 また、野良猫がみだりに繁殖し、フン尿被害や無責任なエサやり等による環境悪化や殺処分される野良猫の大半が野良猫が産んだ生後間もない子猫であり、社会問題となっている。

担当課	市民環境部環境保全課	課長	白石 勝己
担当者	星野 悠佑	問合せ先	0957-53-4111(内線149)

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	R 6 (実績)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)	R 10 (計画)
①	狂犬病予防注射接種率	計画値	%	78.1	73	73	73
②	不妊・去勢手術施術頭数	計画値	頭	126	115	150	150

【成果指標】

指標名		単位	R 6 (実績)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)	R 10 (計画)
①	猫に関する苦情件数	計画値	件	155	120	120	120
②	犬に関する苦情件数	計画値	件	79	60	60	60

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	合計
事業費	5,946	7,730	9,238	9,909	9,909	9,909	52,641
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他	5,946	4,593	4,077	3,462	3,462	3,462	25,002
一般財源		3,137	5,161	6,447	6,447	6,447	27,639
人件費	9,236	7,750	7,782	7,782	7,782	7,782	48,114
職員(人)	1.25人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	6.25人
時間外勤務(h)	73h	239h	255h	255h	255h	255h	1332h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	15,182	15,480	17,020	17,691	17,691	17,691	100,755

妥当性 (市の関与)	殺処分ゼロや犬・猫のトラブル防止に向けて、県や市町等の様々な関係者が連携して取り組むことが不可欠である。
有効性 (施策貢献度)	野良猫の繁殖抑制により、ふん尿や無責任なエサやりによる環境の悪化を食い止め、近所間のトラブルを軽減することができる。また、殺処分頭数の減少につながる。 保護犬・保護猫の譲渡や正しい飼育方法を普及することで、殺処分数の減少や犬・猫のトラブル防止に大いに貢献する。
効率性 (コスト)	殺処分ゼロに向けた取組として、野良猫の繁殖抑制や無責任なエサやりを防止することが急務であり、削減の余地はない。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価のとおり